

今年度も研究会では様々な研修会が開催されました！！

8月31日(土) 平成25年度 第1回研修会開催

講師に すながわ相互診療所 清水則幸先生をお招きし
「チームパフォーマンス向上の為にチームステップス」と題し
講演及びグループワークを行いました。

もしも「魔法の杖」があったら、あなたの願いは何ですか？
そんな質問に、日夜医療安全活動に取り組まれている皆さんから、「マ
ニュアルを統一できる魔法」、「安全意識の統一がはかれる魔法」、「時間
を増やせ、ゆとりがもてる魔法」、「マンパワーを増やせる魔法」と様々な願
いが出されました。
「本当にそんな魔法があったらいいのにね」と溜息ながらつぶやくグ
ループメンバーに、思わずうなずき共感でき、そこから話が盛り上がってし
まう、そんな所がこの研究会の研修の良さではないでしょうか。

講義の中で清水先生から、患者・家族もチームの一員であり、重要な発
信をしていることがある。という事や、自分の中のメンタルモデル(思想・信
念・固定観念)にとらわれるのではなく、誰かが「少しおかしくない？」と発信
した事に耳を傾ける姿勢が真のチームではないか、又、発信することの重
要性や発信してくれた事を大切にすることでと話されていました。

グループワークでは、チームトレーニング「チームの鎖」と題し、メンバー
各々が片手だけを使い、紙を切り・のりで貼り・鎖を作る作業を繰り返し行
いました。作業の合間には、少しでも多くの鎖を作るためにどうしたら良い
か、前回の振り返りを行い作業手順の確認をしたり、他者の行動を見なが
ら自分がどのように行動するのか考えるなど、お互いに不足部分を補いなが
ら協力し効率よく作り上げていくという、チームトレーニングを体験学習し
ました。

和気あいあいと楽しい研修会になりました。
当研修会に初めて参加された、コメディカルの一人は、「本当に
楽しく学ぶことが出来た研修会で、参加して良かったです」との
感想を寄せてくれました。



今年度の施設見学は、
神奈川県足柄上郡中井町井ノ口にある
「テルモメディカルプラネックス」
に行ってきました。



参加者からの感想です！！

*今回はテルモのプラネックスで、抗癌剤被爆体験を行いました。蛍光薬
を使用して投与の一連の過程を体験し、想像以上の被爆に驚きました。医
療者自身を守り、安全に取り扱うことの大切さを学びました。(M.T)

*施設見学への参加は、今回が初めてでした。化学療法における被曝体
験では蛍光塗料を使い実際に点滴を詰め、ルートを付ける作業では思っ
ていた以上の被曝をしている事を身を持って体験し被曝の怖さを知りま
した。混注されたボトルにも蛍光塗料が付着していたことに驚き、また化学療
法の安全な取扱いについて考えていく必要があると、これからの課題とな
りました。次回、このような企画があるときには是非また参加したいと思いま
した。(N.I)

*実際に化学療法の被曝体験をして、日常業務の中にこんなにも被曝の
可能性がある事を知り、何気なく思考している自分の行為を反省しました。
日頃、リスクを回避できるよう悩みながら取り組んでいます、実際に使用
する商品で患者や看護師の安全が守られるようになる事も学びました。県内
の会員の方々と交流を持つことができ、とても貴重な体験となりました。
(K.S)

*演習しながら被曝体験を行いました。調剤から廃棄まで被曝する恐れが
あり、取扱者全体がチームとなり対策していくことが大切であると学びまし
た。また、ホスピタルスタジオでは、リアルな環境の中でトレーニングを行う
事は、適切な援助を導き出して行くことが出来ると感じました。重複課題な
ど新人研修で活用していけたらと思いました。(M.M)

10月19日(土) 平成25年度 第2回研修会開催

講師に 筑波大学医学医療系 三木明子先生をお招きし
「KYTによる介護・医療現場の暴力のリスクマネジメント
～あなたは患者からの暴力にどう対応しますか～」と題し
講演及び演習を行いました。

三木先生には今年3月にも御講演いただき、
会員の皆様より好評を得まして再度研修会開
催の運びとなりました。

今回は、多数の実例をもとに講義いただき、
更にその事例の暴力に対し、どのように対応す
るかデモンストレーションを行いました。

患者役・看護師役になって下さった参加者の皆
様の迫真の演技に拍手喝采！！です。

その後、各グループに分かれ、「患者同士の
喧嘩の仲裁」、「酩酊状態の患者の対応」、「危
険行動の制止」と3つの場面を再現し、対応方
法を考えました。

「こうすれば手が来るよね」、「この位置だと足
で蹴られるよね」、「こうすればどう？」など、より
リアリティーに対策を考える事が出来ました。

最後に、いくつかのグループに対応方法のデ
モンストレーションを行っていただきましたが、こ
れもまた迫真の演技であり、見ている側はとて
も理解しやすかったです。演習の中で、実際の
動き方を学ぶ事は、いざという時、現実の場
面で行動に結び付けていく事ができるのではない
かと思いました。



いつでも全力投球！！！！



この迫真の演技！！！！



お知らせ

来る 平成26年3月1日(土)
山梨医療安全研究会第9回大会
が開催されます。

皆様の日頃の取り組みを、実践報告としてお待ちしております。
どうぞ、ご応募下さい。

医療安全研究会役員一同

